

平成18年度の行財政改革の 成果をお知らせします

～町単独で持続できる行財政体質を目指して～

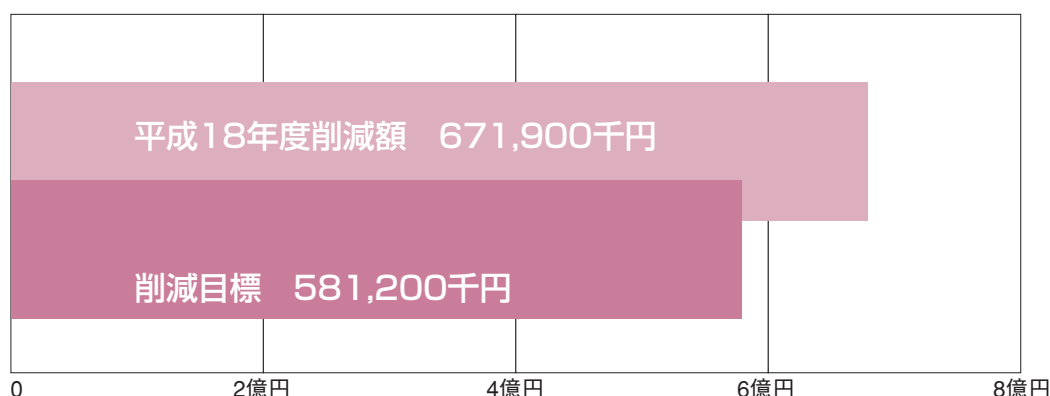
町では平成17年度から19年度までの3か年を実施期間として「笠松町行財政改革推進プラン」に取り組んでいます。
事務の見直しや歳出抑制をすることで、17年度に引き続き、その年の収入でその年の全ての支出を賄うことができる黒字財政を運営することができました。

目標を大きく上回る成果から、健全な財政運営が図られつつありますが、現在の地方財政を取り巻く環境は、いまだ厳しい状況であることには違いありません。

19年度も行財政改革推進プランの目的とする、身の丈にあった財政運営ができる体制の構築を目標に、さらなる行財政改革を進めつつ、改革に伴うサービス低下を可能な限り緩和できるような方策を講じながら、将来においても持続的に発展する町を目指していくところであります。

平成18年度の削減額は6億7,190万円

行財政改革推進プランでは平成16年度当初予算の財源不足額581,200千円を3年間で解消することを目標に実施しています。18年度は671,900千円を削減することができました。



平成18年度の主な行財政改革の効果とその内容

資源物の行政回収から集団回収への移行・・・▲41,368千円

- ・資源ごみ集団回収の実施（全町内）、収集委託料などの5%削減

国民健康保険特別会計繰出金の削減・・・▲72,784千円

- ・賦課割合の見直し（応能53：応益47）

投資的経費の削減・・・▲396,837千円

- ・道路整備費、施設改修工事費など費用の圧縮

人件費の見直し

- ・特別職 月額10%削減、収入役の廃止・・・▲17,705千円
- ・議会議員 月額2万円削減、期末手当加算率5%削減・・・▲6,618千円
- ・一般職 職員数削減（14人）、管理職手当20%削減、時間外勤務手当20%削減 期末勤勉手当の役職加算50%削減・・・▲144,147千円

その他（歳入確保）

- ・広告掲載の実施 巡回町民バス、バス回数乗車券、広報紙などへの広告掲載・・・2,052千円
- ・遊休地の売却 田代、江川地内 566㎡・・・18,996千円